

2007 年度

科目名 <p style="text-align: center;">発音クリニック</p>	対象学科・学年 教育教福1回生	担当者 <p style="text-align: center;">高村 博正</p>
授業テーマ 学生各自が自分の英語発音を改良します。小学校の教員と中高の英語科教員を目指す人は履修するほうがいいです。		
授業の概要と目標 このクリニックは単なる発音矯正の場ではありません。日本人の英語発音を向上させるために必要なことは何であるかを考え、各学生自身が訓練を通じてその答えを見つける機会です。最初の授業でサンプル原稿朗読を自己録音し、一年後の最終授業で再び同じ資料を録音します。Before/After を比較することにより、一年間で自分の発音がどれだけ上達したかを確認します。その間の通常訓練は多様な自己訓練から成ります。とくに前期は欠席すると効果がありません。後期から全員の発音クリニック個別指導を行います。全回出席が訓練の基礎です。		
評価方法 毎回の実習成果が評価の対象になります。毎回の評価点（100 点満点）の積算を講義回数で割り、その 6 割以上獲得が評価の基礎点。優良可の評価は従来通り。欠席は-20 点を加算。遅刻は当日の得点を半減。学生←→教師の相互評価を行います。		
テキスト 高村私家本を使います。	著者 高村博正	出版社
参考書 ①「発音クリニック——小学校英語担当者の発音自己訓練法」 ②『これだ!!留学必携』	著者 高村博正 高村博正	出版社 『紀要』30 ふくろう出版
授業スケジュール・内容 1. 入門講義と Before 録音 1 年後の After 録音の比較データ作成をします。 2. ビデオ「English My Way」鑑賞 ブレインストームと感想発表をします。 3. 基礎発音の説明と訓練 (1) [A] 4. 基礎発音の説明と訓練 (2) [f], [v] 5. 基礎発音の説明と訓練 (3) [T], [ξΔ] 6. 基礎発音の説明と訓練 (4) [l], [r] 7. 基礎発音の説明と訓練 (5) [ç], schwa など 8. 基礎発音の説明と訓練 (6) [Hðθ], [θH] 9. 基礎発音の説明と訓練 (7) 語尾の子音 10. Mood leによる実習 (1) 時・場所・環境を超えた論文作成支援システムを利用します。添削を中心にします。 11. Mood leによる実習 (2) 時・場所・環境を超えた論文作成支援システムを利用します。過去の添削を利用。 12. Mood leによる実習 (3) 時・場所・環境を超えた論文作成支援システムを利用します。同時相互評価を利用。 13. 基礎発音の説明と訓練 (8) リエゾン 14. 基礎発音の説明と訓練 (9) 文節の切り方 15. 小林練習文暗唱試験 不合格者は原則として後期授業に参加できません。再試験は行いません。 16. 小林ビデオ再訪 観賞後、後期からは個人指導に移ります。 17. 通常訓練と個別発音クリニック ブース番号1番から10番までの個人指導をします。 18. 通常訓練と個別発音クリニック ブース番号11番から20番までの個人指導をします。 19. 通常訓練と個別発音クリニック ブース番号21番から30番までの個人指導をします。 20. 通常訓練と個別発音クリニック ブース番号31番から40番までの個人指導をします。 21. 通常訓練と個別発音クリニック ブース番号41番から50番までの個人指導をします。 22. ゲスト・ティーチャー (1) 英語の達人のデモに接する機会です。 23. 通常訓練と個別発音クリニック ブース番号1番から10番までの個人指導をします。 24. 通常訓練と個別発音クリニック ブース番号11番から20番までの個人指導をします。 25. 通常訓練と個別発音クリニック ブース番号21番から30番までの個人指導をします。 26. 通常訓練と個別発音クリニック ブース番号31番から40番までの個人指導をします。 27. 通常訓練と個別発音クリニック ブース番号41番から50番までの個人指導をします。 28. ゲスト・ティーチャー (2) 英語の達人のデモに接する機会です。 29. After 録音 最終訓練と2度目の録音をします。 30. 分析と討論 Before と After を比較し、自己分析表に記入し、提出します。		
★「ゲスト・ティーチャー」は「実戦アクセス講義」の一環として行っています。		